

旧交を温め、新しい友情を築く

第1回 日台ロータリー親善会議

日本と台湾のロータリークラブ(RC)の間には、多くの姉妹クラブがあり、お互いのクラブを行き来し、友好を深めたり、共に奉仕活動を実施したりしています。

5月12日、東京で「第1回 日台ロータリー親善会議」が開催されましたが、第1回ということで見知らぬ人同士が恐る恐る集まるのではなく、旧友が一堂に会する会議になりました。

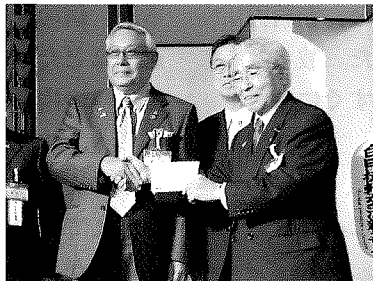
昨年2月、第2580地区(東京・沖縄)の地区大会に国際ロータリー(RI)会長代理として台湾の林士珍パストガバナー(PG)が出席したのがきっかけとなり1年あまり準備を重ね、日本から506人、台湾から158人が出席するという大きな会議となりました。

第2580地区の小澤秀瑛PGは、「台湾と日本とは、距離的にも近く、心情的にも親しい身内のように思っている間柄でございます。しかし、不思議なことに、お互いをもっと知り合う大会形式の催しが今までありませんでした」と述べ、会議を今後2年に1度開催する旨を報告しました。

林PGは、「心の底から触れ合う親善会議を開催しましたことで、日本と台湾のロータリー史の1ページを飾ることができ、心から感謝申し上げます」と、お礼の言葉を述べました。

台北仁愛RCの蔡衍榮氏から、(財)米山記念奨学会が台湾の奨学生の世話をしてくださることへの感謝の意を込めてと、300万円が寄付されました。

第2580地区の佐藤千壽PGは、この日のために英



米山記念奨学会に寄付

語で作詞、坂本博士氏(第2750地区東京世田谷RC)が曲をつけ、披露されました。佐藤PGは、ロータリーの創始者ポール・ハリスの言葉「Best one-word sermon - "SMILE"」(微笑みは一言ですむ最高の説教)をタイトルに、RIテーマ「Reach Out」(手を差し伸べよう 1978-79)、「Lend a hand」(手を貸そう 2003-04)を歌詞に織り込み、「とげとげしい論争の多い世の中なので、こんな歌をつくってみました」と添えています。

第2回、第3回……と、続くことになるであろう会議にふさわしい友好ムードにあふれていました。

取材『友』編集長 二神 典子

Best one-word sermon - "SMILE"

versify: Senju Satoh
Music: Hiroshi Sakamoto

(sincerely)

option

7 Best one word ser - mon smile Dear friend,
be sil - ent please Be sil - ent with a smile Be -
13 fore you make a pro test. Reach out with a smi - le Please lend a
18 hand be - fo re you make a ser - mon
21 option
smi - le smi - le smile